

平成30年度 中心市街地活性化つながるまちづくりプラン（盛岡市中心市街地活性化基本計画）のフォローアップに関する報告

令和元年8月
盛岡市

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成30年度終了時点（平成31年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成30年3月に策定した、国の認定を受けない市独自の「中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」に基づき、「商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成」、「暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成」「盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成」という3つの方針のもと、各種事業を実施した。国の認定を受けた「第2期中心市街地活性化基本計画」から継続する事業も含めた全64事業のうち、今年度実施している事業が56事業、完了した事業が3事業、未着手の事業が5事業であった。

ソフト事業は全て実施中であり、特に平成30年度は、東北絆まつり2018が開催され、伝統芸能や特産品などの地域資源を生かした観光PRを行い、全国に向けて中心市街地をはじめとする盛岡の魅力を発信することができた。また、中心市街地の空き店舗へ出店する事業者へ補助を行う事業については、問い合わせと相談が年間で23件あり、そのうち8件は補助を受け実際に出店していることから、事業者が魅力を感じる街が形成されてきているものと推測される。さらに、商店街の賑わいづくりに資する支援や、交通や子育てをサポートする事業等の実施により、住みたい街、訪れやすい街の形成につながったと考えられる。

施設整備事業では、中央通二丁目北地区にホテルの建設が完了し、平成31年4月16日より供給が開始されているため、今後観光客の入込数の増加や、回遊性が高まることが見込まれる。また、施設整備事業5事業が未実施となっているほか、進行中の一部事業で計画期間が延長されるなど、ハード整備に遅れが生じているため、関係機関と連携し、着実に実施していく必要がある。特に、重点事業に指定されている（仮称）新盛岡バスセンターの整備事業については、現在有識者や関係機関、地域住民と意見を交換しながら慎重に検討が進められており、今後は計画通りに事業を進められるよう進捗を管理していく必要がある。さらに、令和元年度末に運用を開始する予定で策定作業を進めている「盛岡市立地適正化計画」とも連携しながら、社会構造の変化に対応した持続可能な中心市街地の形成を推進していく必要がある。

平成30年度の年間観光客入込数は4,317,642人（前年比117,683人増）と増加したが、一方で、中心市街地の通行量や居住人口は減少若しくは横ばいであるため、ソフト面からの支援や施設整備などの事業を継続して実施するとともに、住みやすく賑わいのある盛岡の魅力を市内外に発信することで来街者を呼び込み、年間を通して交流人口を増やしていくことが重要だと考えられる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（各年度基準日：1月1日）

（中心市街地 地区域）	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 （計画前年度）	平成30年度 （1年目）
人口	13,278	13,324	13,552	13,461	13,367	13,193
人口増減数	246	46	228	△91	△94	△174
自然増減数	△10	△16	△21	△37	△33	△85
社会増減数	100	80	73	△48	△28	△87
転入者数	918	856	917	814	836	805

※人口については当該年度内の1月1日を基準日とし、増減については基準日までの1年間（1/1～12/31）

（例）平成30年度 人口：平成31年1月1日時点 増減数：平成30年1月1日～12月31日の増減

2. 平成30年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

「中心市街地活性化 つながるまちづくりプラン」のフォローアップ初年度となる平成30年度は、プラン掲載事業について、全64事業のうち59事業に着手しており、そのうち3事業が完了となっているが、事業の実施に当たっては事業担当課や実施事業者だけでなく、盛岡市の関係部署と連携して幅広く周知を行い、事業効果をより高めるよう工夫されたい。

目標指標のうち、「中心市街地の通行量」については、調査日当日の悪天候による影響があったものの、策定時の基準値よりも通行量が減少していることから、中心市街地の実態を的確に把握した上で、プラン掲載事業の着実な推進に加えて、実施中の事業についても街の現状に即した効果的な事業の進め方について検討し、実施していく必要がある。

「中心市街地の居住人口」については、策定時の基準値をわずかながら下回る結果となっているため、居住環境の整備を継続して進めるとともに、居住者の利便性向上に資する事業の実施によりエリアの魅力向上を図り、居住人口の増加に繋げられたい。

「盛岡市街の宿泊観光客入込数」については、策定時の基準値よりも増加していることから、盛岡の魅力を市内外に発信するソフト事業の取り組みにおいて成果が表れてきているものと評価する。

また、フォローアップ報告におけるプラン掲載事業の状況について、各事業の進捗を評価し、事業ごとの進捗を実感できるような、適切なフォローアップの実施手法を検討されたい。

令和元年度は、いわて盛岡シティマラソンをはじめとする全国規模のイベントの開催などにより、平成30年度に引き続き、一定規模の交流人口が期待できることから、おもてなし機運の醸成や来街者の呼び込みにより一層努めるとともに、まちづくりや街の利便性向上等に関する情報が市民及び事業者に行き届くよう配慮されたい。

今後の中心市街地活性化に向けて、大型店舗が閉店した肴町界隈をはじめとする中心市街地のまちづくりや、（仮称）新盛岡バスセンターを活かした回遊性の向上等について検討するとともに、必要に応じて新たな事業をプランに盛り込むなど柔軟に計画の更新を行いながら、事業を着実に実施し、社会経済情勢の変化に対応した持続可能な中心市街地の形成が推進されることを期待する。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成	中心市街地の通行量	16,353人 (H30.3)	17,500人 (R4)	13,094人 (H31.3)	C	-	②
暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成	中心市街地の居住人口	13,367人 (H29.9)	13,500人 (R4)	13,153人 (H30.9)	C	-	③
盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成	盛岡市街の観光客入込数 (日帰り・宿泊者数)	4,250,000人 (策定時基準値) 4,199,959人 (H29実績)	4,670,000人 (R4)	4,317,642人 (H30.12)	B	-	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成，B：基準値達成，C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり，目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの，目標達成可能と見込まれ，引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の歩行者・自転車通行量」については，前年実績を3,259人下回る結果となった。指標調査日の悪天候により，歩行者・自転車での通行が減少したことと，中心市街地商店街に所在する店舗で，夜間営業を主とする飲食店等が増加傾向にあることも，日中の通行量が減少している一要因と考えられる。プラン掲載事業の着実な推進を図るほか，商店街の空き店舗への出店促進や商店街の魅力強化を支援するなど，回遊性に寄与する事業の実施により目標達成に向けて取り組んでいく。

「中心市街地の居住人口」については，前年実績を214人下回る結果となった。目標達成に向けて，共同住宅の建設など，市街の居住利便性の向上につながる事業を着実に実施するほか，子育て応援プラザ運営事業など住みやすいまちとしての魅力向上につながる取り組みを強化していく。

「盛岡市街の観光客入込数」については，策定時基準値を67,642人上回った。「東北絆まつり2018」の開催に加え，Wi-Fi環境の整備や「おもてなし」する力を向上させる研修会の実施により，観光客が訪れやすい街の実現に寄与し，観光客入込数の増加の要因となったと考えられる。令和元年度には，初開催のいわて盛岡シティマラソンをはじめ全国規模の催しの開催により，来街者の増加が見込まれるほか，中央通二丁目北地区ホテル事業の完了により，中心市街地での観光客の受け入れ機能が強化されたことから目標は達成可能であると考えられる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

平成30年度から実施するプランのため、該当無し。

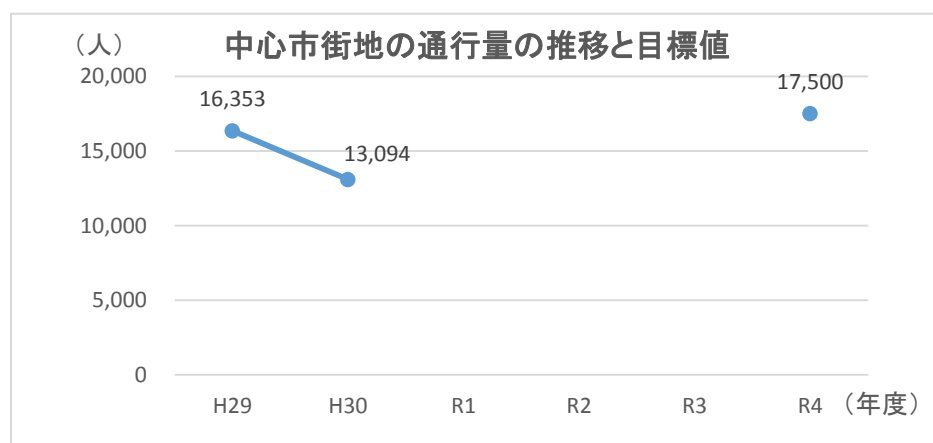
4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 基本方針 1 商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成

事業：a 商店街の力を活かす b 商店街の賑わいをつくる

指標：「中心市街地歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方はプラン P27 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H29	16,353 (基準年値)
H30	13,094
R1	
R2	
R3	
R4	17,500 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査（毎年3月下旬に実施）

※調査月：平成31年3月24日（日曜日）、25日（月曜日）

※調査主体：盛岡まちづくり株式会社

※調査対象：歩行者及び自転車通行者，8地点（数値は加重平均）

●目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 商店街等魅力強化支援事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	複数の商店街等がエリアごとにテーマを設定し魅力強化のための研修会を開催する際の講師招聘経費を補助する。
事業効果及び進捗状況	肴町・盛岡市商店街連合会（2回）・サンサン青山さん通り商店会・紺屋町かいわい街並み協議会に対して講師派遣を実施し，商店街を構成する個店の経営力強化に寄与した。

② 中小企業人材育成支援事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	中小企業の役員・社員が，中小企業大学校において開催する研修を受講する場合の受講料の一部補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成30年度は1社2名に対してRIPSの受講料の補助を実施し，中心市街地の事業者の経営力強化に寄与した。

③ 商店街イベント事業

事業完了時期	令和４年度【実施中】
事業概要	商店街等が主催するイベント等に対し、盛岡市商店街連合会を通じ盛岡市がその経費の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	盛岡市商店街連合会を通じて９団体に補助実施し、商店街の賑わい創出や地域住民との結びつき強化の一助となった。

④ 商店街活性化支援事業

事業完了時期	令和４年度【実施中】
事業概要	①商店街をステージに、市民が主体となって企画・実施する事業②地域住民や小学校と連携し、商店街を花や木で装飾する事業③誰もが利用しやすい環境整備のため、商店街にベンチ等を設置する事業に対し、盛岡市商店街連合会を通じ盛岡市がその経費の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	盛岡市商店街連合会を通じて、ストリートステージ７団体、フラワーコミュニケーション事業３団体に補助を行い、市民の活動発表の場を確保したほか、商店街の賑わいを創出した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

プランに掲載する事業については、計画どおり順調に実施されているが、中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加には至っていないことから、今後も関係団体と協力しながら、事業の効果をあげる取り組み方について検討し、回遊性の向上に努める必要がある。

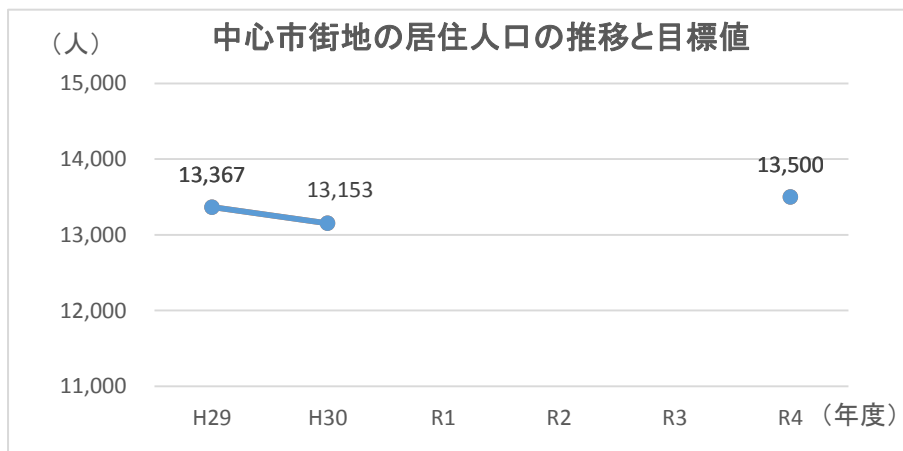
今後の対策としては、商店街等のイベントの開催方法を工夫し、効果的な集客につなげるとともに、日常生活でも中心市街地への来街者を増加させるため、近隣地域から中心市街地までのアクセスの向上や、商店街等に所在する事業者の経営力の向上など、魅力ある中心市街地を形成する事業を総合的に実施することで、年間を通じた交流人口を増加させ、目標達成を目指していく。

(2) 基本方針2 暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成

事業：c 住みたくなる環境をつくる d 訪れやすい環境をつくる

指標：「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方はプランP28を参照

●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳

※調査月：平成30年9月（各年9月末日時点）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：中心市街地の居住人口

年	(人)
H29	13,367 (基準年値)
H30	13,153
R1	
R2	
R3	
R4	13,500 (目標値)

●目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 中央通三丁目地区優良建築物等整備事業

事業完了時期	令和元年度【実施中】
事業概要	①敷地の共同化②店舗及び共同住宅の建設を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成30年9月解体工事が完了し、建築工事に着手している。 まちなか居住を推進することで周辺商業施設での購買機会及び回遊人口の増加につなげる。

② 子育て応援プラザ運営事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	室内遊び場やイベントスペース、託児機能付きオフィス、カフェなどを備えた、子育て応援施設（マ・モール）を公民連携により運営する。
事業効果及び進捗状況	室内遊び場や託児機能を備えた公共エリアと、子どもと離れずに働くことができるワーキングスペースを運営する民間事業エリアを設置、運営し、育児中の世帯も安心してまちなかを回遊できる環境を整えた。

③ （仮称）新盛岡バスセンター整備事業

事業完了時期	令和３年度（予定）【実施中】
事業概要	平成28年に閉鎖した旧盛岡バスセンター所在地において、民間活力の導入を図りながら新たなバスセンターを整備する。
事業効果及び進捗状況	平成30年度はバスターミナル整備及び道路拡幅に係る概略について検討を進めた。 バスターミナル機能と賑わい機能を備えた施設を整備し、中心市街地へ訪れやすい環境を作るとともに河南地区を中心とした賑わいの創出につなげる。

④ 中央通二丁目北地区ホテル事業

事業完了時期	平成30年度【済】
事業概要	中央通二丁目の中央通沿いに位置する細分化した敷地を集約し、ホテル（客室数169室・タワー駐車場１基併設）を建設する。
事業効果及び進捗状況	平成31年３月に竣工し、平成31年４月16日より開業。中央通周辺の環境整備によりエリアの価値の向上が図られるとともに、増加傾向にある観光客の受入れ機能の強化、宿泊者による周辺商店街の利用促進が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成30年度には「中央通二丁目北地区ホテル事業」が完了し、今後は中央通三丁目地区の共同住宅の建設や、中心市街地への交通アクセスを改善する都市計画道路の整備が順次進捗しており、住みやすいまちとしての魅力や市街の利便性の向上が期待されることから、目標達成につながると見込まれる。

今後の対策としては、居住施設等の整備事業を着実に実施し、居住環境の整備を進めるとともに、居住者の利便性向上に資する事業の実施によるエリアの魅力向上を継続して行うことにより、中心市街地居住人口の増加を図る。

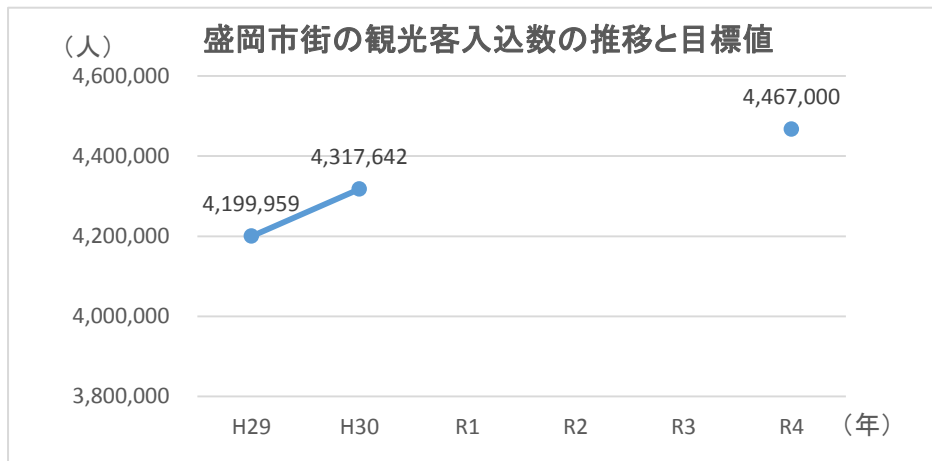
(3) 基本方針3 盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成

事業：e 城下町の魅力を発信する f 伝統と四季を発信する

指標：「盛岡市街の観光客入込数（日帰り・宿泊者数）」

※目標設定の考え方はプランP29参照

●調査結果の推移



年	(人)
H28	4,208,272
H29	4,250,000 (基準年値) 4,199,959 (実績)
H30	4,317,642
R1	
R2	
R3	
R4	4,467,000 (目標値)

※調査方法：①日帰り観光客入込数

近郊3インターチェンジ、バス事業者、JRの報告（任意）を盛岡市が集計

②宿泊者数

市街地宿泊施設からの宿泊者数報告（任意）を盛岡市が集計

※調査月：平成30年3月（平成30年1月～12月分の数値）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：①日帰り観光客入込数

盛岡IC、盛岡南IC、滝沢IC、岩手県交通、岩手県北バス、JR東日本

②宿泊者数

盛岡市街の宿泊施設

●目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 盛岡おもてなし度UP事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	市、観光団体及び事業者等が連携して、観光誘客PRや、職域研修会などの開催を支援する。 遠来からの観光客に市を挙げて「おもてなしの心」で接することにより、観光客のリピーターや口コミなどによる観光客誘致を促進し、中心市街地の魅力の発信につなげる。
事業効果及び進捗状況	構成団体が観光客に対する「おもてなし」の向上を推進するための職域別研修会の開催費用支援、外国人観光客に対するモバイルWi-Fiルータ無料レンタル事業のほか、観光誘客PR、友好都市(うるま市)との交流等の事業を実施し、観光客の誘致を促進した。

② 「VISIT MORIOKA」プロジェクト

事業完了時期	平成30年度【済】
事業概要	豊かな時間の過ごし方を提供できる仕組みづくりを目的に、そこに暮らす人々が愛する盛岡ならではの「ほっこり」とした楽しみ方や、盛岡に立ち寄った人が「2～3時間滞在を延ばし、盛岡市内を周遊してみよう」と思わせる「小さな旅」を提案するためのモニターツアーを実施するとともに、その動画を撮影しyoutubeやwebなどの媒体でPRする。 3つの動画を公開・PRし、中心市街地の魅力の発信につなげる。 (http://www.ccimorioka.or.jp/visit_morioka/) ”
事業効果及び進捗状況	当該事業は完了とする。 引き続き動画をWEB上にて公開し、中心市街地の魅力を市内外に発信する。

③ 盛岡さんさ踊りなど伝統的な四季の祭りの開催

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	盛岡の伝統的な祭りの開催などを通じて、盛岡の特徴的な四季の魅力を発信し、盛岡と盛岡を訪れる人とをつなぐ。
事業効果及び進捗状況	春は「盛岡さくらまつり」、「フラワーバスケット事業」、「大盛岡神輿祭」、「チャグチャグ馬コ」、夏は「盛岡さんさ踊り」、「盛岡七夕まつり」、「ゆかたのまち盛岡」推進事業、秋は「盛岡秋まつり山車」、冬には「もりおか雪あかり」の9事業を実施し、盛岡市街の観光客入込数の増加に寄与したものと見込まれる。

④ 「ゆかたのまちもりおか」推進事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	毎年夏の約1ヶ月間、協賛店をゆかた姿で利用すると様々なサービスが受けられるキャンペーンを実施する。 ゆかたで街を回遊することを楽しめる街にすることで、華やかさや賑わいを創出するとともに、商店街を中心とした協賛店のサービスを利用するきっかけをつくり、商店街の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	「ゆかたのまち盛岡キャンペーン」を平成30年7月14日～8月16日の34日間開催したほか、ゆかたコンテストやゆかた着付教室を開催し、華やかさと賑わいの創出に資した。 また、「ミスゆかたのまち盛岡」による中心市街地のイベントでのPR活動や、メディアやSNSによる情報発信を行い、盛岡の魅力発信に寄与した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗しており、平成30年度の実績も市街の観光客入込数は基準値4,250,000人より67,642人増加している。インバウンドの観光客宿泊者数が増加傾向にあることや、令和元年度にはいわて盛岡シティマラソンや盛岡国際俳句大会、第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会岩手大会など全国規模の催しが多数開催されるため、目標は達成可能と見込まれる。また、インバウンド対応やインターネット環境の整備、キャッシュレス決済等への対応など、来街者をおもてなしする方法について商店街や事業者の関心も高まっていることから、今後も各所への支援を継続し、観光客などが訪れやすい、便利で魅力的なまちづくりを推進するとともに、市街を回遊させる取組を総合的に実施することで、中心市街地全体に経済効果を波及させていく。